



青森河川国道ニュース



↑クリック弘国HPへ

道路インフラ老朽化対策とは?



地元高校生が体験

生徒35名が平川橋を点検
2017.10.25(水)



■今年で4年目「道路メンテナンス会議」

発足から4年目を迎えた「青森県道路メンテナンス会議」では、道路インフラの老朽化対策について、国・県・市の道路管理者が連携し、定期点検や長寿命化の促進と技術力向上、情報共有を図るなどの取組みを行っております。

■弘工生35名が参加

10月25日に行われた「現場見学会」では、地元弘前工業高等学校土木科1年生の生徒の皆さん35名に参加いただき、道路の老朽化対策の取組みについて、見学・体験をしていただきました。

■リフト車に搭乗し、橋梁を点検

見学会は国道7号:平川橋(藤崎町藤崎~弘前市百田)で行われ、生徒の皆さんは、橋梁の定期点検として、床版の下面の損傷状況をリフト車に搭乗しての近接目視点検や、橋台付近の部材損傷等の点検を実際に行い、老朽化対策の取組みをひとりひとりが体験しました。

